

「やさしさ」のち「はぐくむ」ちいきづく！



ロケットになったよ「3・2・1ジャンプ！」

また、体験活動指導員の歌にあわせ「ムギユ♪」と子どもを抱きしめるお母さんと、笑顔

今回は、兵庫県立こどもの館より「動く・こどもの館」を招き、参加者七十三名が、音楽に合わせた親子ストレッチ体操や人形劇で、ふれあいのひと時を過ごしました。

毎月、第三金曜日午前十時より宍粟防災センターで開催中の「やまさき子育てサロン」。

「やさき」動くこどもの館がやってきたよ

やまさき子育てサロン



みんなの視線は人形劇にくぎ付け

いつぱいに応える子どもたちの姿がとても印象的でした。人形劇「かめのともしー」では、登場する動物に歓声をあげての鑑賞会となり、最後は、手作りの「いちご大福」をみんなでおいしく食べました。

山崎支部の子育てサロンは、託児ボランティア「バンビやまさき」、企画進行を担う子育てサポーター「クレヨン」、いずみ会を中心とした、エネルギーシユなボランティア活動によって支えられています。

これからも、子育てサロン事業を通じて、若いみなさんに社協を身近に感じてもらえるような取り組みを進めます。

(山崎支部 春名豊滋)

グループ討議のまとめ

- ・ボランティアだけで運営しており、スタッフを呼びかけても入らず、今、行き詰っている。
- ・福祉委員や婦人会の協力で運営している自治会は比較的うまくいっている。
- ・スタッフリーダーが各自治会で様々である。
- ・ボランティア（スタッフ）の高齢化。
- ・事故等に備えた対応や準備が必要。
- ・若い年齢層の参加を増やしたい。
- ・参加しにくい方へのフォローをどうしていくか。何らかの方法でフォローしていきたい。
- ・子どもから大人まで、幅広い範囲で参加いただくことが本当の「ふれあい」である。
- ・体力測定や血圧測定などの実施。
- ・参加者からアンケートをとって、いろんな意見を聞きたい。
- ・もう少し多額の資金の補助を（社協への要望）。
- ・スタッフの中での守秘義務の確認。
- ・ふれあい活動を自治会の活動に位置づける。

小地域福祉活動や介護予防活動として盛んに取り組まれている、「ふれあい活動（サロン・喫茶）」。

今回は、「グループ運営と今後の取り組み」をテーマにグループ討議を行い、次のとおり問題点や課題が明らかになりました。

(一宮支部 波多野好則)

「地域に広げ！活動の輪」

ふれあい活動連絡会



一宮39自治会中、36自治会で、ふれあい活動が取り組まれています